

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

✓ 一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。12月定例会では、13名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。

生きることの基本は「食育の推進」から

千葉 良秋 (自由民主党)



録画配信の
2次元コード

◆食育は幼少期から始まる

食育は幼少期からの取り組みが、大人になってからも食習慣に与える影響が大きく、健康な体と精神を育む源である。幼稚園、小学校、中学校へと成長する過程において、どのように食育に取り組んでいるか。

学校教育部長 幼稚園では、教育要領及び第2次狭山市食育推進計画に基づき、楽しく食べることや、食の大切さに気付き進んで食べようとする気持ちを育て、小学校では、学習指導要領及び埼玉県食育推進計画を受け、食を通じた豊かな心の育成や食文化への理解促進を図っている。中学校でも、規則正しい食生活の形成や、栄養バランスの理解、世界や日本の食糧事情などについても理解できるように指導している。

◆早寝・早起き・朝ごはん

朝ごはんを取らない児童生徒の割合が増えているが、どのような対策を行っているか。

長寿健康部長 第3次健康日本21狭山市計画・第2次狭山市食育推進計画に基づき、児童生徒へ食育支援を行っている。学校給食部門・保健福祉部門の栄養士が協議の場を設け、朝食啓発リーフレットを小学1年生と5年生、中学1年生に配布し、朝食の大切さやバランスの良い食事について、児童生徒本人と保護者に向け啓発を行っている。



その他のテーマ▶学校給食の意義と目的
▶家庭における食育が基本 ▶地産地消の理解促進

狭山市も顔の見えるサービス、誰ひとり取り残さない福祉を

高橋ブラクソン久美子 (市民派無所属)



録画配信の
2次元コード

◆「特定かつ極めて少数の方へのみ提供するサービスともなりかねない。」と市長は答弁したが、今の福祉は、「顔の見えるサービスを」「誰ひとり取り残さない福祉」を目指しているのではないか。

ファミリー・サポート事業利用料助成金を1時間350円から500円に増額、幼稚園の預かり保育料の軽減を450円から600円に増額、ちゃっば保育室利用料を生活保護世帯や非課税世帯に対して半額以下にすることへの見解は。
福祉子ども部長 ファミリー・サポート・センターは会員の相互援助活動で成り立っている事業であることから、現在の半額助成を継続したい。預かり保育料に対し月額上限11,300円までを無償化の対象としたことから、現段階では市が独自に無償化の範囲を広げる考えはない。

ちゃっば保育室の利用料は平成27年に1時間700円から300円に改定した経緯があることから、現段階での見直しは考えていない。



◆入居要件を緩和し市民が入りやすい市営住宅に若者・単身者や転入者に貸し出す考えは。

都市建設部長 入居希望者の動向及び空き室の状況を踏まえ、若者の単身者を入居対象とすることを検討していく。令和2年4月から利用条件を緩和し、市内事業所に勤務される方も入居可能となっている。引き続き、勤務される方を中心に住居確保に努めていく。

その他のテーマ▶市営住宅のリニューアル計画
▶無料定額宿泊所にいる方の狭山市での住居確保

温暖化ストップ! 気温上昇を産業革命前の1.5°C以内に

猪股 嘉直 (日本共産党)



録画配信の
2次元コード

◆太陽光発電システムの設置は有意義な施策

自治会館や民間会社・事務所などへの設置に対する補助制度の考えは。

環境経済部長 環境団体が市民などから募った寄付金や助成金を基に、自治会館3か所と私立幼稚園1か所に市民共同発電所として太陽光発電システムを設置している。今後も、環境団体と連携し、市民などへの呼びかけや技術的情報の収集や提供などを支援するほか、その普及策について検討していく。

◆自転車専用通行帯を造るという視点で道路計画を

市内の自転車専用通行帯の普及状況は。

市民部長 狭山市停車場線の狭山市駅東口付近の交差点から所沢狭山線の入曽交差点までの約

2.6kmの区間と、東京狭山線の沢の交差点から所沢市境までの歩道内に設けられた約4kmの県道に整備された2区間がある。なお、市道は、道路及び歩道上に自転車専用通行帯に必要な幅員1.5mを連続して確保できないため、設置している路線はない。

◆長年の懸案であった狭い駐車場が改善

広瀬公民館駐車場の改修工事の時期は。

生涯学習部長 既に、駐車場のラインの引き直しなどについては、公民館利用者の活動に支障を及ぼさないよう、指定管理者と協議をし、来年度の早い時期に実施することを予定している。



来
年
拡
幅
す
る
広
瀬
公
民
館
の
駐
車
場

その他のテーマ▶環境学習は世界共通の課題として捉えて

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて

綿貫 伸子 (公明党)



録画配信の
2次元コード

◆地域で包括的なケアを実現するためには

発達障害及び高次脳機能障害を含む精神障害に対応した地域包括ケアシステムを構築するうえで必要なネットワークについての見解は。

福祉子ども部長 医療分野、保健分野、福祉分野の機関に配置されている専門職が相互に顔の見える関係性を築くためのネットワークが必要であると認識している。市では、このネットワークを充実させるための機関として、自立支援協議会に精神相談部会を設置している。

◆当事者や家族の意見を反映させて

ケアシステム構築のために年4回協議の場を設けるとのことだが、当事者や家族が協議の場に参加することについての見解は。

福祉子ども部長 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムを構築する中で、当事者や家族が協議の場に参加することは、現状を適切に把握する上でも大切なことであり、現在、必要に応じて参加いただけるよう検討している。

◆地域住民にわかりやすい窓口を

地域において支援が必要な方を精神医療サービスにつなぐ役割を担う機関は。

福祉子ども部長 現在は、保健所や保健センターが中心となって医療機関へつなげている。今後は、精神障害者の中には、医療未受診、近隣トラブル、ひきこもりなど、対応が困難なケースも多々あることから、福祉相談とも連携し、包括的に対応する必要がある。



ここに掲載していない一般質問の質問の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧ください。FAXか郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。04-2953-1111 内線3313